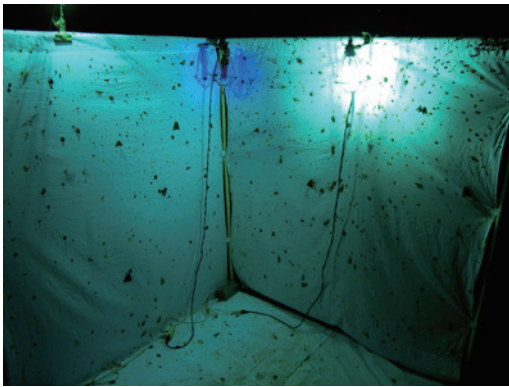


# 日本の小蛾類相の解明を目指して

みなさんは蛾というとなんか虫を想像しますか？灯りにバタバタと飛んでくる、大きな虫を想像される方が多いのではないかと思います。しかし、蛾の中には、虫メガネでみないと見えないような小さな種類がたくさんいます。蛾の中でも小型の種を多く含むグループは、便宜上「小蛾類」と呼ばれ、日本でもまだまだ知られていない種がたくさん残っています。私は、そのような小蛾類に注目して、記載分類を中心とした研究を行っています。



夜に活動する小蛾類は、あかりをつけて集めて採集します。



新種として発表したナガレボシハマキ。本州の山地に分布します。



採集した蛾は、できるだけ早く標本にします。私の場合は、宿で時間のある時に標本にします。たくさん採集した時は明け方までかかることも。



昼間は、昼間活動する種や幼虫を探します。北海道東部、根室周辺の湿地では未記載種(これから新種として記録される種)が飛んでいました。



## 小蛾類の情報求む！

最近、デジタルカメラの普及で小さな生き物を撮影する方が増えたことなどから、小蛾類を楽しむ仲間も増えてきました。そのような方々と一緒になって、日本の小蛾類を調べていければ良いなと思っています。あなたの撮影した一枚の写真が、大発見につながるかもしれません。

動物研究部  
陸生無脊椎動物研究グループ  
研究員

じんぼ うつぎ  
神保 宇嗣

